

2022年度後期

国立感染症研究所 感染症市民公開講座(シラバス)

講義方法	Zoom Webinarによるオンライン	科目名	感染研市民公開講座				副題	知らなかった感染症の「へえー、そうなんだ！」			
連携機関名	国立感染症研究所	水準	中級	教室定員	500	配信定員	なし	講義日時	火曜日 18:30～20:00	拠点 (開講機関)	国立感染症研究所 (東京都新宿区戸山)
科目概要	<p>感染症に関して、普段なかなか知ることができない「へえー、そうなんだ」的な知識をお伝えします。また、感染症に立ち向かうために、感染症研究の専門機関、特に国立感染症研究所が果たしている役割についても紹介します。</p> <p>高校生以上が理解できる内容としますが、参加の年齢制限はありません。講義当日にリアルタイムで参加できない方は、2週間の振り返り視聴をご覧ください。</p>										

科目構成	No.	講義	講義概要(講師より)	講義日	開講場所	事務局	講師	所属
前期	1	感染症序論	感染症とは何かを概説し、我が国及び諸外国で問題となっている感染症の全体像をご紹介します。また、国立感染症研究所の役割をお伝えし、当講座の導入部とします。	2022/9/6	Zoom Webinar によるオンライン 形式 (事務局:国立 感染症 研究所 戸山庁舎)	森 修一 佐藤 裕徳 井上 智 藤本 嗣人 加納 和彦 前木 孝洋 山本 朋範 小林 望 葛西 真治	脇田 隆宇	国立感染症研究所 所長
	2	狂犬病:怖くて謎めいたウイルス感染症の真実	狂犬病をご存じですか?陸生の食肉目と翼目で流行しているリッサウイルスによる感染症です。すべての哺乳類が感染するのになぜ犬なのか。治療法がなく発症したら100%死亡するこの感染症との上手な付き合い方をその感染メカニズムとともに公衆衛生対策の視点から皆さんと一緒に学んでみたいと思います。	2022/9/20			井上 智	国立感染症研究所 獣医科学部・主任研究官
	3	マラリア:コロナ禍で悪化する感染症	マラリアは、結核やエイズと共に、世界的に脅威となる感染症として知られていますが、新型コロナウイルス感染症の影響で状況はさらに悪化しています。本講座では、そのマラリアに関する概論と対策などについて紹介します。	2022/10/4			梶浦 健	国立感染症研究所 寄生動物部・室長
	4	口から感染する肝炎ウイルス	経口感染する肝炎ウイルスとしてA型、E型肝炎ウイルスが知られており、発展途上国では現在も蔓延していますが、先進国でも時に流行が見られます。またE型肝炎ウイルスはブタなどの動物にも感染しており、生食等による感染の危険性もあります。これらのウイルスの流行状況や感染リスク、予防対策について概説します。	2022/10/18			鈴木 亮介	国立感染症研究所 ウイルス第二部・室長
	5	新型コロナウイルス感染症と抗体	さまざまな感染症に対する宿主免疫応答において抗体は重要な役割を果たしています。本講座では、新型コロナウイルス感染症における抗体の働きについて最新の研究をもとに紹介します。	2022/11/1			森山 彩野	治療薬・ワクチン開発研究 センター・主任研究官
後期	1	動物と楽しく暮らすために知っておきたい動物由来感染症	動物も人と同じように病気になります。動物から人へ、また、人から動物へ感染する感染症があります。動物を守り、そして自分を守るために動物由来感染症について知る機会になれることを目指します。	2023/1/10		前田 健	国立感染症研究所 獣医科学部・部長	
	2	感染症予防ワクチン開発における病理学者の役割	ワクチンの開発研究には、ウイルス学者や細菌学者、免疫学者が関わっていることは、よく知られていると思いますが、病理学という学問の専門家もワクチンの開発研究に深く関わっています。私自身が病理学者という立場で長らくワクチンの開発に関わってきましたが、私の経験をお話することによって、ワクチンというモノづくりには、皆さんの目に触れないところで多くの専門家が関わっていることを知っていただく機会を提供したいと思っています。	2023/1/24		鈴木 忠樹	国立感染症研究所 感染病理部・部長	
	3	感染症アウトブレイク対応:素早く見つけて、素早くたたく	私たちの周りでは日々、大小様々な感染症が発生し、ニュースにも取り上げられています。その中には時に社会に大きな影響を与えるような事例も潜んでいます。実地疫学専門家がどのように素早く感染症アウトブレイクを探知し、現場でどのように調査・対応しているかについてわかりやすく解説します。	2023/2/7		福住 宗久	国立感染症研究所 実地疫学研究センター・主任研究官	
	4	意外に多い!小児の腸管ウイルス感染症	新型コロナ感染症による人流抑制により心配視されているのが小児の免疫状態。人流が戻りつつある中、巷ではあまり聞きなれないウイルス感染症が報告されている。今回は「サポウイルス」と「パレコウイルス(主に3型)」についてご紹介します。	2023/2/21		高木 弘隆	国立感染症研究所 安全実験管理部・主任研究官	
	5	実は身近なウイルスの話:みんな感染しているヘルペスウイルス	ウイルス感染症というと、多くの人は病気になるときだけ感染が起こると思っていたり、清潔にして外から入ってこない限りは関係がないと思っておられると思います。しかし実は、私たちにすでに感染しているウイルスが沢山あります。その中で最も身近なウイルスの1つであるヘルペスウイルスの話をご紹介します。	2023/3/7		峰 宗太郎	国立感染症研究所 感染病理部・主任研究官	